

第5学年 道徳の時間学習指導案

主題名：自分の役割に向かって【4－（3）役割と責任の自覚】

江田島市立大古小学校

- 1 日時 平成26年9月10日（水） 第5校時
- 2 学年 第5学年 男子11名 女子15名 計26名
- 3 資料名 「森の絵」（一部改作）

（出典：道徳教育推進指導資料（指導の手引））

4 「小学校読み物資料とその利用―主として集団や社会とのかかわりに関すること―」平成6年3月 文部省）

主題について

本主題は、小学校学習指導要領道徳の第5学年及び第6学年の指導内容4－（3）「身近な集団に進んで参加し、自分の役割を自覚し、協力して主体的に責任を果たす。」を基に設定したものである。また、「役割を自覚しみんなのために働くことの大切さが実感できる道徳学習プログラム」の第1時として学習する。

人間は個の存在であると同時に、家族や学校、会社などのさまざまな集団に属して生活を共にする社会的な存在である。働くことは、単に自分自身が生きていくためだけではなく、社会の一員として自分に課せられた社会的責任を果たして社会に奉仕し、みんなのために役に立つという側面も含んでいる。個が身近な集団に主体的に参加し、責任をもって役割を果たす中で、集団も個も高まる。

中でも、小学校段階では、集団のまとまりを意識し、集団への所属感を高めていくことができるようにすることが求められる。そのためにも、道徳の時間と体験的な実践の場の関連を図りながら、いっしょに活動する楽しさや、集団の役に立つ喜びを実感させながら、主体的な活動への意欲を高めることが大切である。

児童の実態

本学級の児童は、1学期から高学年として校内での委員会活動などの新しい役割を担うことが増え、それぞれの仕事に取り組んできている。2学期が始まり、仕事には慣れてきたであろうが、改めて役割を自覚し、それぞれの仕事に主体的に取り組んでほしいところである。

5月に実施した道徳アンケートで、「『道徳の時間』に自分の思うことが発表できている。」の項目について肯定的な回答が、80.8%であった。積極的な発表をさらに目指したい。

道徳学習プログラムの事前アンケートについて、回答の割合は次のようになった。「委員会、当番活動、ボランティアなど、自分がやるべきことを考えて働くことは大切だと思いますか。」では「とても」77%、「まあまあ」23%、「委員会、当番活動、ボランティアなど、自分でやるべきことを考えて、進んで働いていますか。」では「とても」31%、「まあまあ」69%、「学校で、自分はみんなの役に立っていると思いますか。」では「とても」4%、「まあまあ」77%、「あまり」15%、「ぜんぜん」4%であった。「人はなぜ働くのだと思いますか。」については、「お金を稼ぐため」「生きていくため」など、自分のことについてのみの記述が62%、「役に立ちたい」「国や地域のため」「支えあうため」など、他者との関わりに気付いた記述が38%であった。

これらの結果から、本学級の児童は、やるべき仕事を進んで行うことは大切だと分かっており、進んで取り組むこともできているが、自分が役に立っているという実感はさほど多くなく、否定的回答は19%もあることから、やるべきことをがんばっているもののそれらの意義を感じることは十分でないことが考えられる。働くことの意義についても、お金を稼ぐなど自分のためだけと捉えている児童が多いことから、働くことは、自分のためであるとともに、社会のためという視点も学習させたい。

指導のポイント

本資料は、クラスで劇をすることになったが、第一希望の役にはなれず、道具係となったえり子が、投げやりに仕事に取り組んでいたところ、衣裳係として慣れない手つきで刺繍に一生懸命取り組む文男らの様子を見て、自分の役割に全力で向かうようになるという内容である。所属する集団の目標に向かって、自分の役割と責任を果たすことの大切さを感じ、主体的に責任を果たそうとする心情を育てたい。

本学習の指導に当たっては、以下の3点に留意して進めていきたい。

1点目は、中心発問の工夫である。心情の変化が丁寧に描かれている資料であることから、心情の変化を追う発問も考えられるが、この授業では、主人公のえり子が、自分の仕事に意欲的に取り組むようになった理由や原因を問う、資料の価値そのものの追求につながる発問とし、議論型の授業を目指したい。

2点目は、グループ交流の工夫である。中心発問で個人でワークシートに書かせ一人一人の考えをもたせた後、4人程度のグループで交流させる。その際、ただ漠然と聞き合うだけでなく、共通点や疑問点を考えながら話し合い、「一番みんなが納得したキーワード」にまとめさせる。正しい答えを見つけるわけではなく、そのグループのメンバーが一番共感したキーワードを挙げさせることで、どの発言も共感的に受け止めながら、グループでの話し合いを活性化させたい。

3点目は、学習シートの工夫である。本道徳学習プログラムを通して使用する学習シートを用意し、道徳の時間や学級活動の時間に記入させ、学習プログラムの学びを積み重ねるようにしたい。集団への所属感を感じさせるような図式化、それぞれの役割を自覚できるような記入欄、果たしている役割に対して他者からのコメントをもらう欄を工夫することで、プログラムを通して、役割と責任の自覚をし、公共のために働こうとする態度を育てたい。なお、本時の授業では、研究授業という場を生かし、一人一人が参観の教師や友だちから、学習シートにコメントをもらうことで、自己存在感を高められるよう工夫する。

<生徒指導の三機能の視点>

自己存在感を与える

終末では、研究授業という場を生かし、一人一人が参観の教師や友だちから、学校生活の中で果たしている役割について、具体的に評価してもらう場を設定する。

共感的人間関係を育成する

展開前段では、グループ交流で、キーワードを見つけながら話し合う活動を取り入れることで、児童同士の発言をつなぎ、集団での学び合いとなるようにする。

道徳学習プログラム 単元構想図

第5学年 役割を自覚しみんなのために働くことの大切さが実感できる道徳学習プログラム

時期	道徳の時間	教科・特別活動・総合的な学習の時間・常時活動・家庭との連携	児童の意識の流れ
9月第2週	<p>① (本時) 自分の役割に向かって 4 - (3) 役割と責任の自覚 「森の絵」 なりたい役になれずにやる気を失っていたが、道具係も劇を支える大切な仕事であることに気付いてがんばろうとするえり子の気持ちを考えることを通して、役割を自覚し、責任を果たす大切さに気付かせ、自分の役割を自覚して主体的に責任を果たそうとする心情を養う。</p>		<p>① どの仕事もみんなのために必要なんだな。自分の仕事の責任を果たすことは大切だな。</p> <p>② 委員会や当番活動の仕事も、みんなの役に立っているんだから責任を果たそう。</p>
9月第3週	<p>③ みんなのためにできることを 4 - (4) 勤労・社会奉仕 「小さな手から」 避難所で避難者のために力を尽くす人の姿から、自分にも何かできないかと考えるゆみ子の気持ちを考えることを通して、働くことの意義を理解し、進んで公共のために役立とうとする態度を育てる。</p>	<p>④ 【学級活動】 「ボランティアプロジェクト1」 どんなボランティアができるか、各自で考え、内容ごとにグループを構成し、ボランティアの計画を立てる。</p>	<p>③ みんなのためにできることを考えて主体的に働くことは大切なんだな。</p> <p>④ みんなのために自分でできることを考えよう。友達と協力して働こう。</p>
		<p>⑤ 【学級活動】 「ボランティアプロジェクト2」 自分たちの立てた計画にそって、みんなのためになるボランティアを実践する。</p>	<p>⑤ さあ、主体的にみんなのために働いて役に立とう。</p>
<p>めざす子ども像 役割を自覚し、主体的にみんなのために働く子</p>			

本時の学習

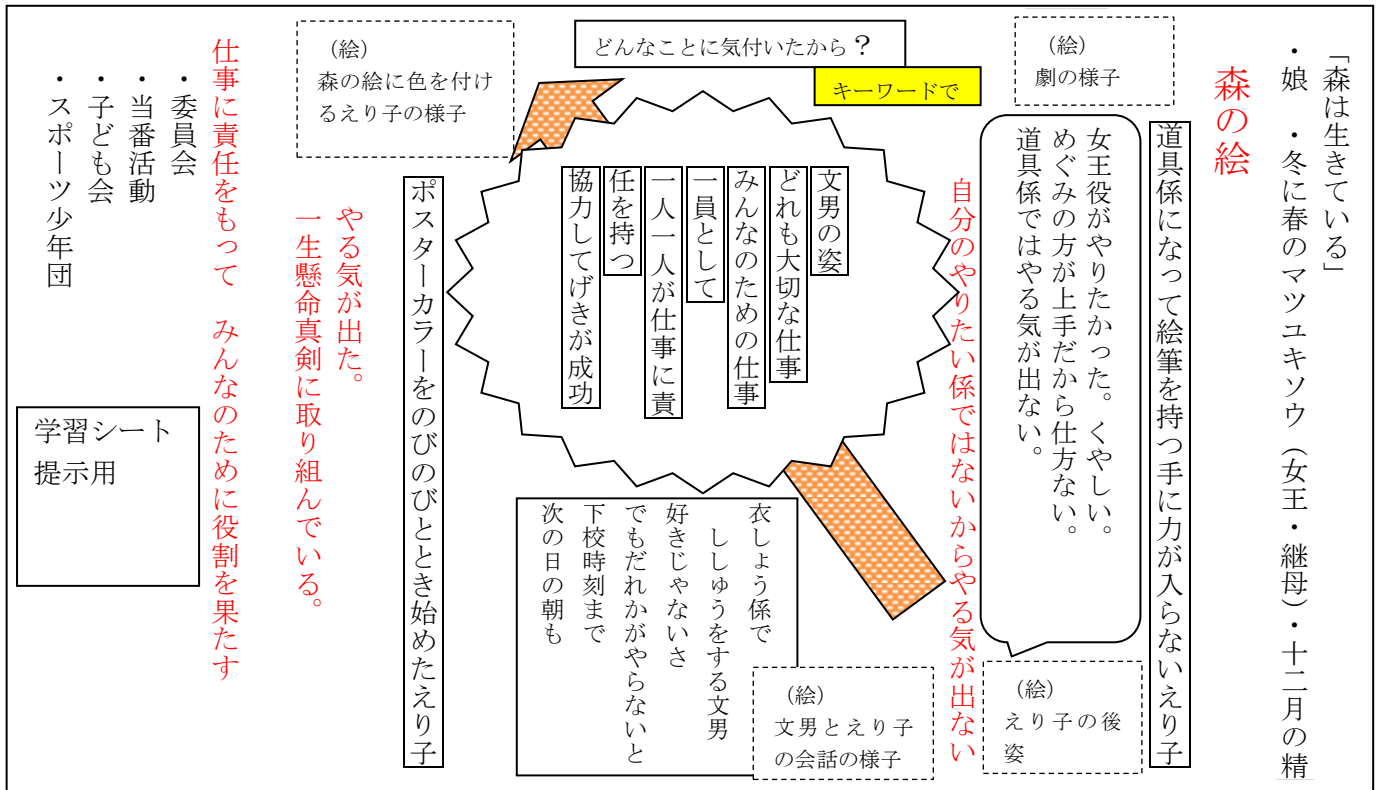
(1) 本時のねらい

- なりたい役になれずにやる気を失っていたが、道具係も劇を支える大切な仕事であることに気付いてがんばろうとするえり子の気持ちを考えることを通して、役割を自覚し、責任を果たす大切さに気付かせ、自分の役割を自覚して主体的に責任を果たそうとする心情を養う。

(2) 本時の展開

過程	学習活動	主な発問 (○) と中心発問 (◎) 予想される児童の反応 (・)	指導上の留意点 (・) 評価 (※)
導入	1 「森は生きている」という演劇のあらすじを知る。	○ 「森は生きている」というお話を知っていますか。簡単にあらすじを紹介します。 ・ 娘が、女王や継母に、冬なのに春のマツユキソウを採ってくるように命じられて、12月の精に助けてもらおう話なんだね。	・ 演劇の写真を見せてあらすじを話し、資料への方向付けをする。 ・ 演劇の中の歌を BGM として流し雰囲気浸らせる。
展開 (前段)	2 資料の前半を聞いて話し合う。 資料の後半を聞いて話し合う。	○ 道具係になったえり子が絵筆を持つ手に力が入らないのはどんな気持ちからでしょう。 ・ 女王役がやりたかったな。悔しい。 ・ めぐみの方が上手だから仕方ない。 ・ 道具係ではやる気が出ない。 ○ 森の絵に色をつけるえり子の気持ちはどのように変わったでしょう。 ・ やる気が出た。 ・ 一生懸命真剣に取り組むようになった。	・ 資料は前後半に分割して読み聞かせる。 ・ なりたかった女王役を譲って、道具係に意欲的になれないえり子の気持ちに共感させる。 ・ 主人公が価値の自覚をするきっかけは、文男の姿である。それを踏まえて中心発問で考えられるよう、資料範読の際板書に残す。
	言語活動の充実	◎ 森の絵に色をつけるえり子の気持ちが変わったのは、えり子がどんなことに気付いたからでしょう。キーワードで書いてみましょう。(個でワークシート→グループ→全体交流) ・ 文男の姿 ・ どれも大切な仕事 ・ みんなのための仕事 ・ 一員として ・ 一人一人が仕事に責任をもつ ・ 協力してげきが成功	・ 真剣に考え話し合う授業を目指し、グループ交流をさせる。それぞれの意見に共通点や疑問点を考えながら話し合い、「一番みんなが納得したキーワード」にまとめさせる。 <共感的人間関係> ※ 集団において、役割を自覚し、主体的に責任を果たすことが大切であることに気付くことができたか。(ワークシート)
展開 (後段)	3 自分の生活を振り返る。	○ みなさんは、所属しているそれぞれ集団の中で、どんな役割を果たしているでしょう。(学習シート)	・ プログラムを通して使う学習シートに、所属する集団、果たしている役割を記入させる。
終末	4 役割を果たしていることについて、教師や友だちからのコメントをもらう。	○ 学習シートを持って、先生方や友だちの所へ行き、コメントをもらいましょう。 ○ みなさんが委員会や、当番活動でがんばっていることは、たくさんの人の役に立っているんですね。	・ 一人一人が授業参観の教師や友だちからコメントをもらう。実際の場で役割を果たしていることについて、集団の役に立つ喜びを感じ取らせる。 <自己存在感>

板書計画



ワークシート・道徳の時間アンケート

森の絵

○ 森の絵に色をつけるえり子の気持ちが変わったのは、えり子が、どんなことに気付いたからでしょう。 ← キーワードで書きましょう。

五年()

(絵) 森の絵に色を付けるえり子の様子

☆グループで話し合い、一番みんなが納得したキーワードを書きましょう。

道徳の時間アンケート (ワークシート裏面など)

(とても・まあまあ・あまり・ぜんぜんの4段階で回答)

- ① えり子の気持ちの変化を考えながら、自分の仕事に責任をもってみんなのために役割を果たすことは大切だと思いましたか。
- ② 自分が日々果たしている役割を思い出しながら、自分の仕事に責任をもってみんなのために役割を果たすことは大切だと思いましたか。
- ③ これからもっと、自分の仕事に責任をもって、進んでみんなのために役割を果たそうと思いましたか。